

JOMF 派遣医師便り (2016. 10)

◆マニラ◆

東京医科大学教授の濱田篤郎先生、京都大学特定准教授の吉川みな子先生による講演会が開催されます。

「マニラにおける感染症の予防対策」

—特に蚊が媒介するデング熱やジカ熱について—

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

11月8日に東京医科大学教授の濱田篤郎先生、京都大学特定准教授の吉川みな子先生による講演会がマニラ日本人会において開催されます(主催:東京医科大学病院渡航者医療センター)。皆様是非ともご参加ください。

この数か月の間にフィリピンを含む東南アジアの国々で次々とジカ熱の発症が確認され、外務省からも妊婦や妊娠を考えている女性のこれらの国々への渡航を自粛するようにと注意喚起が出されました。

その後マニラ在住の皆さんから、ジカ熱やデング熱に関する問い合わせが急増しています。ジカ熱に関するものでは女性からの質問が多く、「すでに妊娠しているが日本へ帰国すべきか」、「子供が欲しいと考えているがあとどのくらい避妊期間を設けるべきか」、「蚊によって感染したジカ熱なのか性交渉で感染したのかを区別する方法はあるのか」など、深刻な内容も寄せられています。デング熱に関するものでは、「デング出血熱になると多くが死亡するのか」、「2回目の感染だと必ず死亡するのか」、「以前に発症した人は途上国に派遣しない方が良いか」、「一度罹った職員は帰国させるべきか」など現実的・具体的な内容も寄せられています。

講演会ではさらにウイルス性肝炎や狂犬病なども含め、これら疾患の病態や現実的な対応、予防対策などについてわかりやすく説明していただきます。

以下詳細を掲載します。皆様どうぞご参加ください。

講演会 「マニラにおける感染症の予防対策」

マニラおよび周辺地域で注意したい感染症とその予防対策に焦点を当てた講演会を開催します。とくに蚊が媒介するデング熱やジカ熱の話題をとりあげます。本講演は日本国厚生労働省の「国内侵入・流行が危惧される昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策に関する研究班」を含む研究費助成を受けて行う活動です。

講演1 マニラにおいて注意したい感染症とその予防対策

講師 濱田篤郎先生

東京医科大学教授、東京医科大学病院渡航者医療センター部長

海外勤務者や海外旅行者の診療にあたるとともに、新型インフルエンザやデング熱など海外の感染症対策事業を運営している。テレビや新聞の感染症コメンテータとしても活躍中です。

＜講演概要＞

マニラに滞在中に注意するデング熱、A型肝炎、狂犬病などの熱帯感染症とともに、最近話題になっている ジカ熱や MERS の現状についてご紹介します。また、感染症を予防するために有効なワクチン接種についてもご説明いたします。

講演2 知っておきたい感染症を媒介する蚊を寄せつけない対策

講師 吉川みな子先生

京都大学 学際融合教育研究推進センター・グローバル生存学大学院連携ユニット特定准教授

＜講演概要＞

ご家庭・学校あるいは職場、さらにマニラにおける外出先や他国への渡航中にも実践していただきたい予防対策をご紹介します。

日時 11月8日(火) 午後1時半～3時半

場所 マニラ日本人会会議室

対象者 日本人会会員、非会員、フィリピン在留邦人のみなさま

参加費 無料、先着50名様、予約制

主催 東京医科大学病院渡航者医療センター

共催 海外邦人医療基金(JOMF)、マニラ日本人会、
京都大学グローバル生存学大学院連携プログラム(GSS)

お問い合わせ：マニラ日本人会診療所 02-818-0880、申し込みは必ず日本人スタッフへ。

申込期間：10月10日より随時